

当社名古屋事業所の竣工記念式

8月3日（月）午前10時から宇部興産機械(株)の名古屋事業所（愛知県名古屋市港区）の竣工記念式が開催されました。宇部興産機械(株)にとって1914年に宇部新川鉄工所として創業以来、宇部地区以外に生産工場が誕生するのは100年を超える歴史の中で初めてとなります。

新たに誕生した名古屋事業所は、2017年1月にグループ会社となったU-MHIプラテック(株)が名古屋市港区に建設を進めていたもので、8月1日の合併により宇部興産機械(株)の新工場として操業を開始しました。宇部興産機械(株)にとって、宇部本社内にある重機工場、産機・鉄構工場に続く3番目の生産工場であり、射出成形事業の新たな戦力として事業の拡大を目指します。

名古屋事業所の構内には、工場棟、事務所棟、倉庫棟があります。工場棟には、スクリュ生産のための機械加工設備や溶接・溶射装置を配置し、また工場棟内には、部品検査や組立エリアに加えて、テクニカルセンターを設け、最新の射出成形機による成形トライを通じて、お客様の製品開発や品質向上、生産合理化を支援します。

竣工記念式では、岡田徳久・宇部興産（株）専務執行役員機械カンパニープレジデントが「新工場完成、そして宇部興産機械名古屋事業所として操業を予定通り開始することができて、心よりうれしく思っています。皆さまのご努力のお陰であり、厚く感謝申し上げます。本年を世界に飛躍する新たな創業年とし、全員一丸となって頑張りましょう」と祝辞を述べました。

宮内浩典・宇部興産機械(株)社長は「新型コロナウイルスの影響で世界経済は大きな打撃を受けている中、われわれがお客様や市場にどのような価値を提供できるかが問われています。われわれの企業メッセージは、～『いいもの』を世界に～です。『いいもの』がどのように世界を席卷するのか、皆様と共に手を合わせて挑戦していきましょう」とあいさついたしました。

井上靖宏・宇部興産機械(株)取締役常務執行役員射出成形事業部長は「新しい道を切り拓くために、今の自分を壊すつもりで、失敗を恐れずチャレンジして下さい。われわれ名古屋事業所が変わることで、宇部興産機械の宇部工場までを変える意識を持って、頑張ってください」と名古屋事業所の役員・社員に呼び掛けました。

続いて、社員代表 2 人による決意表明がありました。梅谷彩子さん（射出成形機技術部 機械設計 1 G）は「2つの会社の技術が1つとなって、両社の製品・サービスを融合させることで、さらなる事業拡大とチャレンジ精神を持った製品開発へ力を結集します」と宣言。霜越勇紀さん（名古屋事業所 製造部 機器製造 G）は「宇部興産機械名古屋事業所としての新たなスタートです。この先も技術・技量を磨き続け、“いいもの”を世界中のお客様に提供していきます」と声高らかに誓いました。

締めくくりに、テープカット、記念碑の除幕式を行い、盛会のうちに幕を閉じました。

